

第47回日本男子ソフトボール東日本リーグ第1節;富山大会の展望

“男子ならではの”のスピード&パワー、激戦を制するチームは・・・!!

会期:平成30年5月11(金)～13日(日) 予備日14日(月) 会場:富山県岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場

日本男子ソフトボールリーグは東日本リーグと西日本リーグに分かれ、2回戦総当たりのリーグ戦を行う。各リーグ戦を勝ち抜いた上位4チームによる決勝トーナメントを行い“日本一”が決まる。

今年の東日本リーグは、「絶対的王者はいない!?’と感じさせるくらい力も拮抗し、混戦が予想される。昨年優勝のトヨタ自動車は、「男子U19日本代表」3名が新加入し、選手層にグッと厚みが増した。昨年「MVP(※首位打者・本塁打王・ベストナインの3タイトルを獲得)」に輝いたキャプテン・黒岩選手や若き右腕・櫻田投手には「大きな期待」がかかる。昨年、東日本リーグ3連覇を逃し、リーグ戦3位に終わったホンダエンジニアリングは、浦本新監督のもと今シーズンの戦いに臨む。「男子TOP日本代表」でも主力に成長しつつある糸瀬選手、大石選手を中心に、エース・浅野投手をはじめ、長井投手らエース級が控え、今年も「総合力」で他のチームを一步リードしているといえるだろう。トヨタ自動車やホンダエンジニアリングとともに「優勝争いを繰り広げる」と目されるのは、豊田自動織機、デンソーといったあたり。豊田自動織機も宮本投手を獲得し、「左右の二枚看板」濱田投手・深津投手の投手陣に厚みがまし、タレントは揃っているだけに優勝を期待せずにはいられない。デンソーは日本代表の山脇投手を中心に接戦をものにし、優勝を狙う。日本エコシステムは「技巧派の右腕」竹本投手を軸に粘り強く守り、打線が得点を奪うスタイルで勝ち星を増やしていけるかがカギとなる。その他、大阪グローバル、埼玉県庁クラブ、YKKを含めた各チームの順位争いは、例年のごとく「混戦」必至。どのチームにも決勝トーナメント進出のチャンスはある。

開幕節となる富山大会には地元チームのYKKが出場する。エースの岩松投手(2014年U19代表)を中心に最少失点に抑え、宮路選手(2011年U19日本代表)、下井倉選手(2012年U19日本代表)の中軸が力を発揮すれば、上位チームを脅かす存在となりうる。地元富山の大きな声援を受け、開幕戦のトヨタ自動車に勝利し、スタートダッシュを決め、上位チームを引きずり降ろしたいところ。YKKの活躍を大いに期待したい。男子リーグはスピードに加えパワーがあり、一振りで試合の流れが変わる緊張感がある。その緊張感をより近くで感じながら試合を観戦することができる機会であり、ご来場される皆さまには、日本男子リーグの熱戦を楽しんで頂き、全チーム・全選手に力強いご声援をお願いしたい。

《東日本リーグ第1節富山大会 対戦カード》

参加チームトヨタ自動車・日本エコシステム・ホンダエンジニアリング・デンソー・大阪グローバル・豊田自動織機・埼玉県庁クラブ・YKK

月日	時間	A球場		B球場		C球場		D球場					
5.11	10:00	トヨタ自動車	vs	YKK	日本エコシステム	vs	埼玉県庁クラブ	ホンダエンジニアリング	vs	豊田自動織機	デンソー	vs	大阪グローバル
	13:00	埼玉県庁クラブ	vs	YKK	日本エコシステム	vs	トヨタ自動車	大阪グローバル	vs	ホンダエンジニアリング	デンソー	vs	豊田自動織機
5.12	10:00	YKK	vs	日本エコシステム	豊田自動織機	vs	大阪グローバル	埼玉県庁クラブ	vs	トヨタ自動車	ホンダエンジニアリング	vs	デンソー
	13:00	YKK	vs	大阪グローバル	豊田自動織機	vs	日本エコシステム	デンソー	vs	トヨタ自動車	ホンダエンジニアリング	vs	埼玉県庁クラブ
5.13	10:00	YKK	vs	デンソー	日本エコシステム	vs	ホンダエンジニアリング	トヨタ自動車	vs	大阪グローバル	埼玉県庁クラブ	vs	豊田自動織機
	13:00	YKK	vs	ホンダエンジニアリング	デンソー	vs	日本エコシステム	豊田自動織機	vs	トヨタ自動車	大阪グローバル	vs	埼玉県庁クラブ

※左側:三塁側のベンチで、ホームチーム(後攻)とする